



霜の被害を防ぐ防霜ファンが設置されている梨のほ場

高野 礼子 議員

降霜、低温による梨の被害について

質問(高野礼子議員)

国、県への支援要請及び本市の支援策について伺います。

答弁(市長)

栃木県に対する支援要請は、5月に要望書を提出して、栃木県農業災害対策特別措置条例に基づく災害に指定され、各種補助制度が適用されることになりました。

具体的には、病害虫防除用農薬購入費等補助、「樹草勢回復用肥料購入費等補助」、「被害果実の選果等作業費補助」について

とちぎの農業緊急支援資金の制度活用も予定しています。この制度の限度額も500万円です。

国の支援策については、現段階では明確に示されていませんが、生産者の生産能力の維持及び経営の安定化に向けた支援策について、あらゆる機会を捉えて要望していきたいと考えています。

本市の支援策としては、先ほどの栃木県農業災害対策特別措置条例に基づく各助成制度を軸に支援していきますが、生産者の声や要望等を伺いながら有効な支援策を検討していきます。

星 雅人 議員

エレベーター設置について

質問(星雅人議員)

市営バス乗り入れに伴う那須塩原駅の東口のエレベーター設置の取り組みについて伺います。

答弁(市長)

那須塩原駅発着の市営バスは、急行福祉大線、那須塩原線及び那須塩原線の3路線が運行していましたが、平成25年度に路線の見直しを行い、現在は那須塩原線、金丸線及び雲巖寺線の3路線が運行されています。

市営バスの乗車数については、平成23年6月に調査を実施したところ、平日1日平均560人が利用していますが、その多くは学生であり、通学時間帯の利用が7割を超えている状況です。

那須塩原駅連絡橋は、東口からの駅構内の通路となっており、エレベーターについては西口側のみに設置されており、新幹線駅舎の新設時に設置されたもので、管理についてはJR東日本が直接行っています。

東口へのエレベーター設置については、JR東日本が設置するか、あるいは駅が立地する自治体等が設置することになります。

市としては、市営バスを利用する高齢者の方や身体障害者の方、またその他、妊産婦等の方々の利便性や安全性の向上を促進する上でエレベーターは必要であると考えています。今後、JR東日本へ要望活動や立地市である那須塩原市への働きかけ、あるいは近隣市町共同による設置など可能性を模索し、エレベーター設置に向け、努力したいと考えています。



市営バスが乗り入れる那須塩原駅東口